

**製品名: TERF2IP マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM86038**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,FC 1:25-1:50
分子量	44.2kDa

**抗原情報**

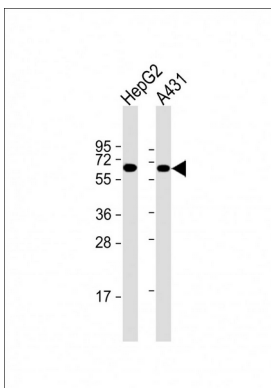
遺伝子名	TERF2IP Telomeric repeat-binding factor 2-interacting protein 1, TERF2-interacting telomeric protein
別名	1, TRF2-interacting telomeric protein 1, Dopamine receptor-interacting protein 5, Repressor/activator protein 1 homolog, RAP1 homolog, hRap1, TERF2IP, DRIP5, RAP1
遺伝子 ID	54386.0
SwissProt ID	Q9NYB0
免疫原	この TERF2IP 抗体は、ヒト TERF2IP のヒト領域のアミノ酸間の KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。

## 背景

テロメア機能の調節因子と転写調節因子の両方として機能します。シェルタリン複合体（テロソーム）の構成要素として、テロメア長の調節と保護に関与しています。シェルタリン複合体の他の構成要素とは対照的に、テロメアキャッピングには不要であり、非相同末端結合（NHEJ）を介した修復からテロメアを保護することには関与しません。代わりに、テロメア組換えを負に制御するために必要であり、テロメア長に影響を及ぼす可能性がある相同組換え修復（HDR）の抑制に不可欠です。DNAに直接結合せず、TERF2との相互作用を介してテロメアの二本鎖5'-TTAGGG-3'リピートにリクルートされます。テロメアでの機能とは独立して、転写調節因子としても機能します。TERF2または他の因子との関連を介してテロメア外5'-TTAGGG-3'部位にリクルートされ、遺伝子発現を制御します。細胞質内にある場合、I- $\kappa$ Bキナーゼ（IKK）複合体と関連し、IKKを介したRELA/p65のリン酸化を促進することでNF- $\kappa$ Bシグナル伝達の調節因子として機能し、NF- $\kappa$ B標的遺伝子の発現を活性化します。

## 研究分野

## 画像データ



全レーン：抗TERF2IP抗体（1:2000希釈）